

定年退職を迎えるにあたって
北大時報、No.756、2017 年 3 月号、北海道大学総務企画部広報課

工学研究院教授 岡田 成幸（おかだ しげゆき）氏



昭和54年、博士後期課程を中途退学して助手に採用されて以来、現今では稀少の大学畑一筋の38年間の教員生活に一区切りを付けることとなりました。緑豊かな北海道に生まれ、北海道で育ち、途中思うところがあり、名古屋に異動しました。専門の地震防災計画を、社会活動に力を入れ始めた東海圏で学び直すと思い立ったからでした。

離道して気がついたのは、日本文化の多様性に比べ大学教育の質が均一であることでした。大学生は日本中どこでも、気質は別としても、その理解力・能力において差はないと感じました。社会に出ると前者の気質が問われることにはなるのですが、日本の教育の質の高さは均一的に保障されていると納得する反面、サイドの「知識人とは何か（平凡社ライブラリー）」の言葉が重くのし掛かってきました。「知識人（intellectual）は狭い知の領域に閉じ込もりがちで、専門の外にあるものを見ようとせず（これを専門分化（specialization）という）、特定の権威なり規範的思考方に迎合する（これを専門主義（professionalism）という）恐れがある」という指摘です。私が感じていた日本の教育の質の高さは専門性にありました。一般教養を犠牲にせず憂慮や愛着によって動機付けられる広い視野と関心、これがサイドのいうアマチュア主義であり、逆説的ではありますが、自分の専門領域をより広く深く進化させる原点であると思います。最後に、サイドの言葉を再び。

「現代の知識人はアマチュアたるべきである。」

略 歴

生 年 月 日	昭和28年4月14日
昭和51年3月	北海道大学工学部卒業
昭和53年3月	北海道大学大学院工学研究科修士課程修了
昭和54年3月	北海道大学大学院工学研究科博士後期課程中途退学
昭和54年4月	北海道大学工学部助手
昭和62年12月	工学博士（北海道大学）
平成2年6月	北海道大学工学部助教授
平成9年4月	北海道大学大学院工学研究科助教授
平成16年10月	名古屋工業大学大学院工学研究科教授
平成20年4月	} 東北大学客員教授
平成29年3月	
平成22年4月	北海道大学大学院工学研究院教授
平成24年4月	} 北海道地区自然災害科学資料センター長
平成27年3月	
平成27年4月	} 京都大学防災研究所自然災害研究協議会北海道地区部会長
平成29年3月	